

いつまでもお元気で
～100歳おめでとうございます～



満田 キミエさん(南有馬町)
大正8年1月20日生まれ



松本 ミスエさん(西有家町)
大正8年1月22日生まれ



林田 續さん(南有馬町)
大正8年2月1日生まれ



小林 フジエさん(加津佐町)
大正8年2月1日生まれ

「わたしのプチ話題」(市民の声)

民謡「島原胴突き唄」全国放送で披露

「島原胴突き唄」(歌詞の抜粋)

ヨイトヨーエー 島で名所どーみゃ ヨイヨーイ
加津佐の岩戸 根から生えたかエー アリャエーイソーリャ
根から生えたか ハーヨイヨイ 浮島か
根から生えたか浮島か ヨーイヤヤーッサ サートセ
ハラーホリアゲロホリアゲロ



中学卓球で九州大会出場を報告

2月4日、昨年12月に行われた県予選を突破した加津佐中(男子団体・男女個人)・口之津中(女子団体)の出場選手らが、「全九州卓球選手権大会」に出場することを松本市長に報告するため市役所を訪問しました。

山本鈴華さん(加津佐中2年)は「長崎県の代表として、自信をもって正々堂々と戦いたい」と意気込みを語りました。

なお、両校とも1月に開催された県新人戦でも団体で2位の成績を収め、4月の九州中学選抜大会への出場も決定しています。



加津佐中吹奏楽部が全国大会出場を報告

1月のマーチングステージ全国大会九州予選で、加津佐中学校吹奏楽部が全国大会への出場を決めました。

2月8日、出場を市長に報告するため部員の皆さんが市役所を訪れました。大会に向けて音部優依さん(部長)は「今までの練習の成果を存分に発揮して、精一杯頑張ります」と決意を話しました。

昨年末、NHK総合テレビで放送された「民謡グランドチャンピオン決定戦 2018」で、「加津佐の岩戸」という歌詞の入った民謡が唄われていました。

この唄は、「島原胴突き唄」で、長崎大会チャンピオンの山口詔寿さんが披露されました。「胴突き唄」とは、家を建てるときの地固め作業の際に唄われていたそうです。皆さんは、こういった唄があることをご存知でしたか。

本市の地名が全国で放送されることはうれしいですね。



1月23日…上海市上南中学南校 35人(口之津中学校2年生)



1月22日…上海市建平中学南校 25人
(西有家中学校2年生)



1月25日…上海市市西初級学校 24人
(口之津小学校5～6年生)



移住推進に関する 市政懇談を開催しました

1月23日、本市が取り組んでいる移住政策の推進を図るため、実際に本市へ移住して来られた12人が参加し、移住する際に必要な支援や移住したときに感じたことなどについて、松本市長と懇談しました。

参加者からは、「気軽な感覚で移住できるための居住確保」、「創業支援事業の移住者に向けた情報発信と連携」、「いろいろな移住パターンをカテゴリー化しての情報発信とパターンに合わせた案内人の存在が必要」など事業推進のための意見や、「子育て環境の支援体制の充実」など暮らし始めて感じた意見がありました。また、移住者自らが地域活性化のために取り組んでいることの紹介などもありました。

市長は、「皆さんが本市に来て、さまざまな活動や取り組みをしていただいてありがたい。本日いただいた意見を、今後どう生かして現実の形にしていけるかが大事。こういった機会をつくりながら進めていきたい」と今後の協力をお願いしました。

本市に移住して来られた人の率直な意見を聴くことができ、今後の移住推進を図るうえで有意義な懇談会となりました。

※懇談会の概要については、市ホームページをご覧ください。

Focus in 南島原 まちの話題



中国の学生と国際交流

1月下旬に中国の上海市から修学旅行団3校(総勢84人)が文化交流を目的に本市を訪れ、それぞれ西有家中、口之津中、口之津小学校と学校交流を行いました。

各学校では、英語での自己紹介や漢字クイズ、新聞じゃんけん、じゃんけん列車など工夫をこらしたレクリエーションで交流を深めました。片言の英語や身振り手振りでコミュニケーションを図り、一緒に給食を食べたり、お互いの生活に関する質問コーナーを設けて双方の文化を学びました。

参加者からは「わずかな時間だったけれど、すごく楽しかった。機会があれば上海にもぜひ来てほしい」との感想がありました。帰る際には笑顔でハイタッチをしたり抱き合いながら別れを惜しむ姿が見られました。



最優秀賞(小学生の部) 中島 知哉さん(深江小4年)

三県架橋の実現に向けて

本市口之津町から熊本県、鹿児島県と3県をつなぐ三県架橋の実現を目指し、毎年「島原・天草・長島架橋構想および九州西岸軸構想」を推進しています。

この両構想が実現し移動時間が短縮することで、県境を越えた相互交流を可能にし、地震などの災害が発生した場合の避難や災害物資輸送の代替道路としての機能が期待されます。

市としてもこの両構想の早期実現に向け、関係各県・市町と一体となって引き続き、国に要望を行っています。

推進の一環として小中学生を対象に実施された絵画コンテスト小学生の部で、中島知哉さん(深江小4年)の作品「風景のよい橋」が見事、長崎県における最優秀賞に輝きました。

本県の入賞作品は、12月18日から9日間、市内商業施設で展示されました。入賞された皆さんおめでとうございます。